

## 平成 29 年第 2 回天草市教育委員会定例会会議録

1 期 日 平成 29 年 2 月 17 日（金）午前 9 時 30 分開会

2 場 所 五和農業情報センター マルチメディア室

### 3 本会議に出席した教育委員

委員 長	花 里 昌 直	委員長職務代理者	黒 鶴 進 治
委 員	行 合 八 恵 子	委 員	木 下 えり子
委 員	菘 田 え り	教 育 長	石 井 二三男

### 4 本会議に出席した事務局職員

教 育 部 長	森 下 洋 一	教育総務課長	山 名 直
学校教育課長	山 本 洋 介	学校給食課長	川 端 浩 二
生涯学習課課長補佐	本 多 俊 隆	文化課長	稲 田 正一郎
学校教育課審議員	岡 田 真 治	教育総務課課長補佐	長 島 修
学校教育課課長補佐	松 本 安 彦	学校教育課課長補佐	沢 村 祐 介
学校教育課係長	池 田 恵美子	文化課文化振興係長	赤 星 潤 一

総務企画係長 出 永 圭 史

### 5 本会議に付した議題等

#### (1) 審議事項

議第 9 号 平成 28 年度天草市一般会計補正予算（第 8 号）について (各 課)  
議第 10 号 平成 29 年度天草市一般会計当初予算について (各 課)

#### (2) 協議・報告

(1) 天草市市有バスの処分について (学校教育課)  
(2) 平成 29 年 3 月行事予定について (教育総務課)

### 6 本会議の概要

#### (1) 開会

花里委員長： ただ今から、平成 29 年第 2 回天草市教育委員会定例会を開催する。傍聴人がいないことを確認する。

#### (2) 前回会議録の承認

花里委員長： 前回会議録の承認であるが、何かご意見はないか。ないようであれば承認してよろしいか。

(全員承認する)

#### (3) 教育長報告

石井教育長： 今日、「いじめ問題をしっかり考える」という、指定を受けていた有明中学校区の代表として柴田菜央さんが全国サミットに参加した感想を書いている。

先日、天草を出られ今年度をもって定年退職をされる人吉第三中学校の金澤校長を森下部長と訪問した。

また、昨日英語発表（英検 I B A：自治体版）が行われたが、素晴らしいものであった。これを機に天草市の英語教育が少しずつでも進んでいってほしいと思ったところで

ある。

(4) 議案

議第9号 平成28年度天草市一般会計補正予算(第8号)について

花里委員長：事務局から説明をお願いします。

山名課長：議案書1ページ、資料1ページをお願いします。第8号の補正であるが、繰越明許費の変更及び歳入があった。繰越明許費の変更であるが、本渡東小学校及び有明小学校の建築工事を行っている。しかし、熊本地震の影響で資材及び労務者の確保ができなかったため年度内完成が困難になり繰越をするものである。それに伴い、本渡東小学校工事が5月、有明小学校工事が8月の竣工予定である。続きまして、学校教育費の寄附金であるが、西邦電気工事株式会社から70万円の寄附金をいただいた。いままでは一般財源で充当していたが、寄附金を充当し特定財源とするものである。歳出額に増減はない。

花里委員長：何か質問はないか。

それでは、質問がないようであるので、私から質問させていただく。当初の本渡東小学校の工事予算が4億4千万、有明小学校が4億4千万円であった。この金額が増えるのか、それとも8月に本渡東小学校の建築工事の入札が行われた。何について補正されるのか。

長島課長補佐：今回の207,172千円の本渡東小学校建設事業について、12月補正予算では次年度に予定していた事業を本年度前倒しですることについて承認をいただいた。それにはこの207,172千円は含まれていない。今年度計画していた本体工事である校舎・体育館の工事について、全額繰越するということである。

花里委員長：昨年8月に請負契約を締結したが、契約額が増額されるということであるのか。

長島課長補佐：予算額をそのまま繰越すだけである。

花里委員長：労賃の増加及び資材の高騰によって契約額が変更になるわけではないのか。

長島課長補佐：仮設の資材が遅れ、その分について遅れたため工事期間を延長するものである。

花里委員長：何かご質問はないか。ないようであれば議第9号については承認してよろしいか。

(全員同意する)

議第10号 平成29年度一般会計当初予算について

花里委員長：事務局から説明をお願いします。

山名課長：議案書6ページ、資料2ページからをお願いします。まず、議案書7ページをお願いします。平成29年度の当初予算の概要である。合計46億5千4百万円ほど計上している。項ごとの明細については記載のとおりである。それでは9ページから歳入について説明する。まず、負担金であるが幼稚園・小学校・中学校に通園・通学する子どもたちが学校管理下での災害に対して給付を行うための個人負担である。使用料であるが学校開放施設、幼稚園の保育料及び社会教育施設の会場使用料等を計上している。次に10ページをお願いします。教育手数料であるが、教職員住宅の督促手数料が有った場合に1千円計上している。国庫負担金であるが、本渡東小学校・有明小学校の学校建設に係る補助金である。国庫補助金であるがスクールバスの運行、御所浦町等のへき地児童生徒の健診費用、要保護児童生徒援助費及び特別支援教育就学奨励金については、経済的に就学が困難な家庭への援助費である。それから理科教育等設備整費であるが、理科教育振興法に基づく補助金である。11ページをお願いします。中学校関係の理科備品、社会教育費の文化財関係である。棚底城の調査、市内の指定文化財の調査に係る補助金である。県教育費補助金であるが、水俣に学ぶ肥後っ子教室、御所浦地区高校生の通学費に関する補助金及び県の指定教育研究推進校の補助金である。放課後子ども教育推進事業補助金、学校・家庭・地域連携推進事業補助金である。12ページをお願いします。財産貸付

収入であるが、教職員住宅使用料8, 178千円を計上。利子及び配当金であるが、奨学金貸付基金の利子を計上している。13ページをお願いする。生産物売払収入ということで太陽光発電、学校に太陽光発電を設置している。使用しない分については売電しており、楠浦小学校・牛深小学校・本渡中学校・五和小中学校の4校で売電している。雑入については、学校給食会からの助成金等々である。市債は学校建設及び学校給食共同調理場整備に係るものである。以上が歳入である。

それでは、歳出等について資料2ページからの事務事業の概要について各課より説明を行う。

まず、2ページをお願いする。天草郡市教育委員会連絡協議会負担金である。天草郡市教育委員会連絡協議会について特別報告はないが、熊本県市町村教育委員会連絡協議会の事務局を担当している。5月には総会、10月に教育長大会を天草市で、来年1月には教育委員大会を開催する。3ページをお願いする。学校施設管理施設費として小・中学校及び幼稚園の修繕・点検等を行うもので約3, 100千円を計上している。内訳は修繕費13, 600千円、シロアリ駆除等の委託料で約7, 500千円計上している。4ページをお願いする。離島高校生就学支援事業である。平成25年4月から御所浦地区の高校生について自宅から船で通学する者の定期券代、また天草市外を含む寮及び下宿等に住む者については一万円を上限に補助を行うものである。5ページをお願いする。上段が奨学金貸与事務経費で選考委員の報酬等である。下段は小・中学校及び県立学校等記念事業補助金であり、来年度は有明小学校・本渡東小学校関係の閉校式等を行う予定であり、3, 300千円計上している。6ページの小学校統合推進事業であるが、本渡東小学校・有明小学校の関係で新たな備品購入、校歌・校章制定経費、閉校式実施経費等を計上している。本年4月に開校する牛深東小学校駐車場整備を計画している。8ページであるが、本渡東小学校建設工事であるが昨年より工事を始めている。校舎・体育館は10月中に完成予定である。それに関連し外溝工事・道路改良工事等を実施する。現在の進捗状況であるが、本日配付した写真をご覧いただきたい。上段が本渡東小学校の全体写真である。左側が本渡東中学校体育館である。その隣に基礎が見えるが体育館が建設され、L字型に校舎が建設される。併せて有明小学校は有明支所の隣に建設中であり、奥が体育館、手前が校舎を建設している。工事については両校とも予定どおり進んでいる。9ページをお願いする。有明小学校建設事業であるが、先ほど申し上げた状況である。10ページは小学校施設営繕事業である。老朽箇所及び危険箇所等を計画的に修繕・改修を行うこととし、37, 500千円予算計上している。12ページ下段であるが中学校施設営繕工事として約21, 000千円計上している。13ページをお願いする。幼稚園営繕工事として1, 800千円計上している。11ページをお願いする。小学校施設大規模改造事業4, 600千円を計上している。12ページの中学校施設大規模改造事業は全部設計委託料であり、次年度以降に工事を行うこととしている。11ページ下段の姉妹都市教育交流事業であるが、来年度は本市中学生を派遣することとしており、1, 500千円計上している。前回の派遣時から個人負担をしてもらっている。以上、教育総務課所管についての説明を終わらせていただく。後は学校教育課から順次行う。

山本課長 : 14ページをお願いする。スクールバス運行事業であるが、小・中学校の統合に伴い遠距離となった児童・生徒の通学手段の確保を目的としスクールバス及び御所浦地区においてはスクールボートを運行(航)している。平成29年度についてはバス・タクシーを合わせ49台、船1隻の運行(航)を計画し463, 493千円の予算を計上している。前年度と比較し予算額が57, 875千円減額となっているが、主な要因として昨年度は契約数が17件、予算を作成する時点ではその分については設計額で計上していたが、今年度はその17件について複数年契約しており、契約額で計上している。また、財源の手当てとして国庫補助金40, 000千円を計上している。15ページをお

願いする。小中学校 I C T 整備事業、情報通信技術関連機器の整備である。平成 27 年度から教育用パソコンの更新はデスクトップパソコンからタブレット端末に切り替えている。今回、次期学習指導要領改訂等を見据えた段階的・計画的な整備を図ることを目的とし I C T 機器整備計画を見直し、平成 30 年度までにタブレット端末への更新を終えることとした。当初計画では平成 33 年度としていたが、平成 30 年度に前倒しをして更新を終える。このため平成 29 年度については、本渡南小 37 台、本渡北小 42 台、牛深中学校 37 台、牛深東中学校 32 台、有明中学校 41 台、御所浦中学校 27 台、倉岳中学校 27 台、栖本中学校 33 台、新和中学校 22 台、五和中学校 36 台、天草中学校 22 台及び平成 30 年度にタブレット端末を導入する予定の 13 校分については各 1 台先行導入して研究していただくため先行導入する。合計 375 台のタブレット端末への更新を計画している。備品購入等 111,508 千円を計上している。次に 16 ページをお願いする。上段の各種大会出場補助金であるが、学校教育活動の一環として行われる体育活動及び文化活動を通して児童・生徒の健全な育成を図ることを目的に県大会以上の大会へ出場する児童・生徒及び保護者に対し交通費・宿泊費・参加料等の一部を補助している。補助率は熊本県大会を 6 割、県大会より上位の大会を 8 割としている。次に 16 ページ下段、学習指導補助教員設置事業であるが、補助教員として 43 人の配置を計画している。17 ページ上段、教育相談事業であるが、臨床心理士である教育相談カウンセラー 5 名、校長退職者である教育指導アドバイザー 1 名を任用し、就学前児童及び小中学校の児童生徒の健全な育成と非行防止を図ることを目的に相談活動を実施するものである。17 ページ下段、グローバル人材育成事業であるが、平成 27 年度から実施している。来年度についても実施を計画しており、京都大学経営管理大学院の留学生 8 名を派遣していただく旅費を計上している。次に 18 ページをお願いする。上段の英会話推進事業であるが、平成 28 年度に引き続き市内全小学校 21 校、幼稚園 3 園において英会話科を教育課程に組み込み授業を実施するものである。これに対応するため、英会話科指導教員 5 名に係る予算を計上している。最後に 18 ページ下段をお願いする。心の教室相談事業であるが、市内中学校 13 校全てに 1 名ずつ心の教室相談員を配置する計画をし、報酬等必要な予算として 10,589 千円を計上している。以上、学校教育課関係予算についての説明を終わる。

川端課長 : 議案 30~31 ページ、資料 19~20 ページをお願いする。給食センター 8 カ所、有明地区の自校式単独調理場 4 カ所の予算である。ほとんど経常経費であるが、機械器具類購入費として加熱水蒸気オーブンを本渡給食センターに導入するため 2,214 千円を計上している。この加熱水蒸気オーブンの特徴としては焼く・蒸す・解凍をこの 1 台で行うことができる。水を沸騰させ、発生した水蒸気を更に加熱し、高温の加熱水蒸気を食材に吹き付け料理をするものである。膨大な熱量で調理時間が短縮され、また栄養価や旨みが保たれ、美味しいヘルシーな料理ができる。コンベア方式で一様に吹きつけられるため斑がなくなり、熱を循環させるため調理時間の短縮、熱効率も良くなる。解凍から焼き上げ、蒸し物、調理まで対応し、肉類・魚介類・野菜類を調理するバリエーションが増え、献立のメニューが広がる。購入の理由は 1 点目、現在のスチームコンベクションが 1 台、棚方式であり、1 回調理が終わると棚を入れ替える必要がある。1 台であり食材を詰め込むため斑ができる。焼けに斑があるため再度調理し、時間を要したため配送時間が遅れたこともある。また、1 台で調理を行っているため故障時には調理出来ない。2 点目に現在の自動焼き物機は平成 2 年に購入し 27 年を経過する。老朽化のため故障するが、部品の供給がなく応急的な対応を行っている。この焼き物機は廃棄するし、購入予定の加熱水蒸気オーブンに替える。建設予定の新たしいセンターへの移設も可能である。

本多課長補佐 : 課長が欠席であるので代わって説明する。資料 21 ページをお願いする。まず、家庭教育支援事業である。主な内容は家庭教育支援員の配置である。現在、本渡東小学校及

び大楠小学校に支援員を配置しているが、両校については平成30年度に統合となるため、両校を拠点校とし統合する他校へも支援を行うこととし、平成29年度も引き続き両校に配置するものである。次に放課後子ども教室推進事業であるが、現在島子小学校・本渡東小学校の2校で実施している。29年度は新たに瀬戸小学校に教室を設置することとしている。そのため、コーディネーターの謝金及び備品購入費等が増額となっている。22ページをお願いする。成人式については当面、現在の10カ所でこれまで通り開催するため前年度とほぼ同額を計上している。次に青少年健全育成事業であるが、事業に対する補助を行うものである。平成28年度より補助内容を見直し、校区・地区限定の事業に15万円、市内全域を対象とする事業に20万円を上限に事業費の2分の1を補助するものである。続いて人権教育推進事業について、平成28年度は熊本地震の関係で中止となったが、全国人権同和教育研究大会が熊本市において開催予定であり、その経費を計上した。平成29年度は10月21日・22日に天草郡市で第46回熊本県人権教育研究大会天草大会が予定されており、同大会における地元実行委員会負担金・参加者負担金・輸送委託料等を計上している。23ページをお願いする。社会を明るくする運動・教育力活性化推進大会であるが、平成29年度も7月8日に開催を予定しており、昨年並みの予算を計上している。社会教育団体補助金であるが、PTA連絡協議会・子ども会育成連絡協議会・地域婦人会連絡協議会へ補助を行っている。また、青少年育成協議会については平成30年度より一般会計で取り扱うこととしており、現在協議会の残金があるということで平成29年度は予算計上していない。続いて勤労青少年ホーム事業であるが、来年度も今年度と同様の事業を行うこととしており、昨年度並みの予算を計上している。24ページをお願いする。生涯学習推進事業である。これは主に公民館で行う事業である。内容を毎年見直しながら、各地区で行っている。平成29年度はパソコン講座が増加するためパソコンの購入費、野外の活動のため車両借上げ料が増額しているが、総額としては前年度並みを計上している。次に移動図書館についてであるが平成28年度と同様の事業を行うこととし、前年度並みの予算を計上している。25ページをお願いする。読書活動推進事業であるが、平成29年度も平成28年度同様の活動を続けることとしており、前年度並みの予算を計上している。

稲田課長 : 教育委員会事務局組織規則においては生涯学習課に記載されている文化財指定については補助執行を受けておらず、文化財保護審議会についても組織規則には記載されていないが、文化課において事務執行をしているので、平成29年度予算の概要について説明する。資料26ページをお願いする。まず、文化財保護費事務経費である。主な内容としては文化財保護審議会、年間3回程度開催し、文化財に関する審議を行うこととしている。委員の報酬、研修会旅費等を計上している。また、文化財の管理・清掃等を行っており、久玉城及び御領地区の石本家の管理、清掃に関しては大矢遺跡、倉岳町の史跡ゾーン公園、祇園橋の大雨時の樹木撤去等の業務を行っている。続いて棚底城跡調査整備事業であるが、平成23年度に作成した保存管理計画に基づき、現在整備活用計画を策定中である。来週、最終の検討委員会を開催し3月末には整備活用計画を策定する。それに基づき平成29年度から整備を進めることになるが、その委託料として、整備基本設計業務委託に約5,500千円、流水系等調査業務に約1,100千円、棚底城跡の管理委託等に合計7,139千円を計上している。また、棚底城址の周辺整備としてフットパスコースのルート上の整備、日陰棚の整備で3,500千円計上している。27ページをお願いする。文化財調査事業であり継続で行っているが、平成28年度は天草・五和の調査を行った。平成29年度は上島地区の調査を行うこととしており、発掘に係る作業賃金、それから郷土資料調査ということで平成28年度は天草町を行い一通り終了したため、漏れ分の調査を平成29年度に行う。27ページ下段、文化財保存整備事業・文化財等整備補助金である。委託料と工事費が主なものとなるが、平成28年度下浦の歴史本の作成を行った。この歴史本を基に子どもたちにも知ってもらうため漫画

本の作成を検討している。それから、石本家の石垣が緩んでおり危険な状態であるため、修復工事として9, 185千円を計上している。また、その設計費として1, 745千円計上している。それから祇園橋が老朽化しており、現在の状況を専門家に調査を依頼するため、祇園橋健全度調査業務委託として1, 800千円ほど計上し、委託料の合計が8, 364千円となっている。

花里委員長：何か質問はないか。

菘田委員：資料22ページ、人権教育推進事業を天草において開催されるとのことであるが、期日はいつであるか。

本多課長補佐：10月21日（土）・22日（日）を予定している。

菘田委員：議案16ページにある、勤勉手当とは一般的な皆勤賞みたいなものであるのか。

松本課長補佐：職員給与であり、民間ではボーナスに該当する。ボーナスは期末手当と勤勉手当が支給され、期末手当は給料の何カ月分となっており、勤勉手当は病気休暇等がなければ満額支給されるものである。

行合委員：議案書20ページの要保護・準要保護援助費等であるが、利用の増減及びこれからの見通しについて願います。

池田係長：御質問の要保護・準要保護児童生徒の就学援助費であるが、現在確実な資料を持ち合わせていないため、数値的なことには回答できない。昨年度と比較し、状況については変わりない推移である。特別支援教育の就学援助等であるが、こちらについては減少している。対象となる特別支援教育の児童生徒についての割合は増加しているが、人数については変わらない状況である。

木下委員：質問しようと考えていたが、説明をしていただいた。放課後子ども教室が何校で行われているのか資料を確認した。3校ということであるが、何名の先生で運営されているのか、また子どもたちが何名利用しているのか回答いただきたい。

本多課長補佐：平成28年度は2校、平成29年度は3校で行うが、本渡東小学校は現在1・2年生を対象に20名程度、先生は毎回2名または3名で行われている。来年度については子どもたちが増加するためクラスを増やし運営することを計画されている。島子小学校はつわの花で行われており、こちらは常時2・3名体制で行われている。

木下委員：島子小学校は校内で行われているのか。

本多課長補佐：小学校近くのつわの花という施設で行われている。

行合委員：つわの花の利用人数は。

本多課長補佐：常時利用しているのは5名～8名程度である。

木下委員：資料22ページの人権教育推進事業であるが、計上してある予算は平成29年度の人権大会に関するものであるのか。

本多課長補佐：その通りである。

木下委員：弁当代と記載されているが、支出可能であるのか。

本多課長補佐：弁当は職員及び教職員分については計上していない。動員した一般参加者分のみを計上している。

花里委員長：本渡学校給食センターの今後の見通しは。

川端課長：市長が平成29年年頭あいさつでも述べられているが、平成29年度中に建設予定地を確定し、最終的には平成32年度中には新しい給食センターで開始する計画である。平成30年度に設計、平成31年度に建設し平成32年度供用開始となる予定。

花里委員長：備品関係も20年以上となり、以前から本渡地区においては給食センター建設をとっている。ずいぶん遅れている。食の安全を含め早急な対応をお願いしたい。

生涯学習課に質問する。図書費が例年同程度の予算額であるが、今後図書館建設を見据えた場合に毎年同程度の予算額で良いのか。先を見据えた図書購入費、あるいは天草ならではの図書購入費はどの様になるのか。

本多課長補佐：図書については、複合施設建設において、現在閲覧できない蔵書も含め閲覧できるス

ペースの確保をすることとしている。この件については、後日担当より回答させていただきたい。

森下部長 : 先日、図書館協議会が開催され、その中で複合施設の説明を行った。図書館の面積は現図書館の1.5倍程になる。本の陳列が1.5倍程度になるのか、学習スペースに充てるのか計画段階である。設計について市民の意見及び協議会の意見を聴取し設計することとしている。その後、図書の陳列スペースを決定することとなる。予算については現在の予算額で対応できるものと考えている。

花里委員長 : 新刊については現状が良いと思うが、天草ならではのスペースを作っていただきたい。そのためには関係書物を収集する必要があるが1年で収集できない。そのため数年前から予算計上をする必要がある。

黒鶴職務代理人 : 資料3ページの学校管理経費で小中学校及び幼稚園用地借上料が記載されている。それぞれの面積等を詳しく説明をお願いする。

山名課長 : 今、資料を持ち合わせていないため後ほど説明させていただく。

行合委員 : 資料17ページ、グローバル人材育成事業について質問する。天草市にも多数ALTが在籍する。留学生派遣ということでグローバル人材育成事業を行われる。天草のALTだけでは出来ないのか。それから留学生派遣を要請し、人材育成事業を行うメリットとデメリットを教えてください。また、資料18ページ、心の教室相談事業であるが、各学校を訪問するとそれぞれ事例に対応した資料づくりがまちまちであることに気づく。それから本渡中学校であったか不登校の生徒、相談員が対応する生徒が多かった。子どもは必ずSOSを発信しており初期対応が大切である。その様な生徒を返していくには心理的技法が必要であり難しい。もう少し養護教諭、相談員が担任と相談しながら減らしていくように出来ないのかと思っている。教室を伺わせる以外の方法もあると考えられるので、もう少し初期対応をしっかりと行い、生徒を減らす方法があってもいいのではないかと考えている。心の相談員の活用方法を考えていただきたい。

山本課長 : まず、グローバル人材育成事業についてであるが、現在本市に11名のALTが在籍している。この11名については英語圏の出身者である。来年度で3年目となる京都大学大学院の学生については第2外国語、英語が母国語でない学生もいる。その様なところから実際に母国語を持って英語を喋れることを生徒に理解させるためにはメリットがあると考えている。しかしながら、ALTでこのような活動ができないのか等の研究をしていきたい。来年度が3年目となるので一度検証を行いたい。

それから心の教室相談事業であるが、学校訪問等を通じて部屋を拝見している。それぞれ相談室も相談員が工夫し、子どもたちが入り易くなるよう工夫され、声かけもされている。ご指摘のとおり養護教員及び他の教職員とも連携し、出来るだけ丁寧な対応をし、本来であれば通常の教室で授業を受けることがベストと考える。相談事業として子どもたちの心のケアを図りながら、実際に子どもたちが自分の教室に戻れるような対応ができればと考えている。

花里委員長 : 英会話関連であるが、英会話科推進事業に5名指導員を配置している。昨年度は小学校で4名、幼稚園で1名と言うことであった。連携して事業を行うのか。また、幼稚園でどの程度の内容を行っているのか。幼稚園訪問をしても英会話を行っているところを見たこともなく、遊んでいる姿を見るだけである。

山本課長 : 英会話科推進事業は平成28年度から幼稚園と小学校の取り組みとしている。その中で、事務局訪問で2園を訪問した際、北幼稚園では実際に英会話を行っていた。英語の歌であったり、楽しく英会話に入れるよう行われていた。来年度はできるだけ英会話を見ていただけるよう調整したい。英会話の時間数であるが、各園ばらつきが有るが、年間35回取り組むよう計画している。ちなみに小学校1・2年生は年間20時間、3年生から6年生は35時間を英会話に充てている。

石井教育長 : 幼稚園の1時間は何分であるのか。

山本課長 : 15分である。

花里委員長 : 幼稚園専属の指導員を配置しているのか。

山本課長 : 指導教員5名を配置し、各小学校・幼稚園を巡回して指導している。

石井教育長 : 先日、北幼稚園を訪問した際、15分の帯時間を年少・年中・年長を見学した。小川先生が教えられていたが素晴らしい活動であった。語学は考える必要が無いので、早く取り組めば取り組むほど身に付くのではないかと。保育園を訪問したことがあるが「カチカチ山」などを英語で劇をしている。これが良いのか悪いのかは別にして、語学とはそういうものだと感じる。グローバル人材育成事業も3年目となるが、東南アジア出身者でも英語を使っている。英語と言えばアメリカ・イギリス等であるが、今年度はA L Tも一緒にブースを作成して参加していた。学習指導教員も積極的に参加していた。むしろ英語教員に参加してもらわないといけないと思った次第である。県では小中学生を対象にイングリッシュデイをペアで実施している。天草は遠方であるのでなかなか参加できない。その様な時に天草で開催された場合は、とにかく触れ合う。参加したからと言って能力が飛躍的に伸びるとは限らないが、しかし、良いものである。熊本県が地震に伴い、英検を無料で2年間行っている。楠浦小学校と亀川小学校がモデル校として先行して英語の授業を行った。その子どもたちが稜南中学校に進学したが、英検の能力が天草の中では英検能力が極めて高い。やり方次第では効果を上げて行くのではないかと考えている。

花里委員長 : 他に何かないか。

私から文化財の保護整備について質問する。祇園橋は国指定の文化財であるが、国の補助はないのか。

稲田課長 : 原材料として予算計上している。修繕をする場合は申請をし、許可があれば補助が受けられる。すぐに用意できないものについては、毎年確保するため計上している。

花里委員長 : 補助はどれくらい受けられるのか。

稲田課長 : 大規模改修時のみ補助がある。小規模改修時の補助はない。

花里委員長 : 以前、川を迂回させるとの話があったがどうなっているのか。

稲田課長 : 県の河川課及び市都市計画課において、計画は残ったままである。住民からの意見があり進んでいないのが現状である。

花里委員長 : 棚底城は最終的にはどのような展開になるのか。

稲田課長 : 先ほども説明したが、本年度整備活用計画を策定している。3月を目途に策定することとしている。その中に示している。完全な復元はできないが、第1閣に台座を復元したり、第2閣に東屋を作ったり、土塁の復元を計画している。整備活用計画が策定された後、委員の皆さんに示したい。

花里委員長 : もう一点、小中学校のICT整備事業である。来年度は思い切った予算編成をされている。今ある機器も学校によっては宝の持ち腐れになっている。財政当局は知恵を絞って予算編成をしている。現場は予算編成をした者の気持ちを汲んでいないのではないかと。どの様に活用するのかは現場の先生である。指導体制の整備を行っていただきたい。そうでなければもったいない。

山本課長 : ICT整備については、宝の持ち腐れにならないよう財政当局にも言われている。来年度は、学校教育研究委員会という組織の中でICT部会を立ち上げ、各学校からICTの担当教員に集ってもらい、十分活用できるような先生になっていただき、子どもたちを指導していただくこととしていく。また、英会話についても、昨日小学校英会話部会があり、各学校での取り組みを確認することができた。今後はそれを中学校・その他の学校へ発信できる体制を作っていきたいと考えている。

花里委員長 : 他に質問はないか。

長島課長補佐 : 先ほど質問いただいた資料3ページについてである。小・中学校及び幼稚園用地借上料について面積について質問があったので回答させていただく。志柿小学校駐車場は雑



種地で342㎡、楠浦小学校敷地は5筆あり9,216㎡である。瀬戸小学校運動場は1,620㎡、倉岳小学校駐車場他は3筆あり616㎡、倉岳小学校プール1,122㎡、栖本小学校駐車場他783㎡、倉岳中学校敷地2,837㎡、倉岳中学校体育館1,131㎡、本渡北幼稚園駐車場は3筆で1,082㎡である。

黒鶴職務代理者： 単価の安い所はどこであるか。

長島課長補佐： 地目が違うためこの単価が安い、高いとは言えない。評価額の3%を基本としている。

花里委員長： 他に質問はないか。無ければ議第10号平成29年度一般会計当初予算について承認してよろしいか。

(全員同意する)

## (5) 協議・報告

### (1) 天草市市有バスの処分について

花里委員長： 事務局から説明をお願いします。

山本課長： 平成27年度までスクールバスとして使用していた市所有バスについて処分が決定したので報告する。資料28ページをお願いします。本市において6台のバスを所有している。旧牛深市で購入したバスが3台、旧河浦町で購入したバスが3台である。内2台、大型車1台・小型車1台は現在も運行しているが、残り4台については使用していない。これはスクールバスの運行種類が小型車契約に変更になったため、平成28年度から資料①から④の市有バス4台、大型車3台・中型車1台について使用しなくなった。すくクールバスの運行については、この様に年度によって使用するバスの種類が変更になる可能性があるため、新たに契約をする案件から市所有のバスは耐用年数も経過していることから使用せず、貸切バスによる運行委託契約にすることとしている。この様なことから①から④のバス4台については、今後も利用する計画がないため、まず、市役所内で利活用する計画が無い募った。その結果、応募が無かったため、事務局としては公売も含めて検討したが、高等学校部活動での利用、保護者会等地元で活用してもらう方法はないかと考え、その様な団体から希望があれば車両も古く、残存価値もないため無償譲渡することも可能との結論になったため、市内の県立高校に照会した。資料にあるように芥明高校同窓会・天草高校育友会から利活用の希望があった。両校の先生・保護者会長には実際に車両確認をしてもらい、最終的に利活用申出書の提出があったため、この4台を譲渡することとした。

なお、本市所有のバス残り2台があるが、牛深東中学校で使用している大型バスが今年度末までに、本渡東小学校で使用している小型バスが平成29年度末までの運行委託契約を結んでいる。スクールバスのその後の利用は計画していないため、残りの2台についても今回と同様に処分することとしている。

花里委員長： 何か質問はないか。

黒鶴職務代理者： スクールバスの運行距離はどれくらいが限度であるか。

山本課長： 車検が通れば走行距離の限度はない。価値のある償却期間は5年となっている。整備をすることによって5年以上の利用は可能である。

### (2) 平成29年3月行事予定について

山名課長： 資料29ページをお願いします。3月の行事予定を説明する。小・中学校等の卒業式が予定されている。12日(日)に中学校、17日(金)に幼稚園、24日(金)に小学

校で卒業式が行われる。教育員会の定例会を24日、小学校の卒業式終了後に予定している。それから、市議会であるが2月27日から3月23日まで開催される。その他の行事は予定表をご覧いただきたい。

## 7 その他

山名課長 : 深海小学校の閉校式についてご案内申し上げます。よろしく願います。

花里委員長 : 他に何かないか。なければ以上をもって、本日の会議を閉じる。大変お疲れ様でした。